

第8回 北川原公園ごみ搬入路の違法性解消に向けた検討会 要点録

日 時 : 令和6年8月3日(土) 14時00分~17時10分
場 所 : 日野市クリーンセンター プラスチック類資源化施設 2階多目的室
参加者 : 検討会委員 13名、事務局 7名 合計 20名
配布資料: ①【資料】次第
②【資料】席次表
③【資料】第8回検討会資料(パワーポイント)
④【資料】第7回検討会 要点録

【議題】

1. 開会
2. (1) 本日の検討会について
(2) 周辺地域との意見交換会のおさらい
3. 議事
(1) 方策の選定について
(2) 周辺環境改善について
(3) 全市的な合意形成について
(4) 市長報告について
(5) その他
4. 閉会

1. 開会

2. 本日の検討会について、前回のおさらい

事務局 第8回検討会資料に沿って説明
(主な意見等)

村木委員 その他の意見質問の中に太陽光パネル事業の記載があるが、今どういう状況か教えていただきたい。

事務局 現在都からは、事業自体はまだあるが中断をしている状態と聞いている。

3. 議事

3-(1) 方策の選定について

事務局 第8回検討会資料に沿って説明

(主な意見等)

井上委員 江藤委員が提案された南側に集中させる案について質問したい。日野市のトラックは、一旦バイパスを降りて、泉町の交差点でターンして上がって小金井市・国分寺市のトラックと一緒に入るといふことでよろしいか。

そうすると、北側に全て集中したものが、全て南側に集中する部分だけ変化するというふことでよろしいか。もう1点確認したい。いずれにしても、南側で片側集約する場合、日野市のトラックは小金井市・国分寺市のトラックと同じ場所から出て、一旦バイパスを降りて、泉町の交差点から上がってくることになる。その台数は全くこの数字には出ていない。意見交換会前に指摘した際は、言葉で説明をするというお話だった。公園周辺の方たちに、新しくできた搬入路以外にもバイパスを通る回数が増えているが、カウントされていないことをわかってほしいと思う。

また、6ページ目についてだが、今後のスケジュールで全市的な合意形成と書いてあるが、合意形成は何をもって合意とみなすのか。また、意見交換会で周辺住民とは何を指すのかという意見が出たかと思うが、それに対してコメントがない。今回は明確にしていきたい。

事務局 台数は、意見交換会の経緯の中でも整理はしたが、ピーク時間で100台、全部1か所に集約しても126台であるのは変わらない。南側に集約しても北側に集約しても同じことで台数自体は変わらない。

井上委員 出て行くときは、日野市の車はバイパスを通過して一旦降りて戻ってくる。新しくできた公園をより多く使えるようにするために作るオーバブリッジを通る車の台数だけはここに載っているが、帰るときの台数はカウントされていない。一旦、バイパスを通過して泉町の交差点でUターンして日野市内に戻る車の台数は載っていない。それをカウントしないのは違うでしょって言っている。

事務局 その台数は減ってないはずで、同じだ。

井上委員 増えているはずだって言っている。出てきて、一旦入って荷物を降ろして帰ってきて、更に戻る。往復して終わりではない。周辺住民からしてみれば、風の向きで、万願寺の北川原公園周辺の人に排ガスは行く。

事務局 元々、提示していた台数はどのルートを通ってくるかではなく、全部の合計が一番多くなった場合をお示ししていた。

井上委員 通過する橋が違うが、周辺の別の橋の上を通過している。新しい道路を作って、この道路を通して、一旦言った後に荷物を下ろす。そのあと帰るときは、バイ

パスの上を通っていく。日野市の車も一旦バイパスを降りて、戻ってこないと言っている。日野市内に戻れないルートで、その台数はカウントされてないと言っている。無視されているかなと思った。

- 事務局 無視していたのではなく、理解が及んでいなかった。
- 井上委員 周辺住民からしたら、新しい橋だけを通っているのではなく、上のバイパスを通過して戻る。日野市の車は、要は2往復するような状態になる。その部分を足すかどうかは、問題じゃないと皆さん考えていると受けて止めている。私が周辺住民だったら2往復していることを言うと思う。
- 事務局 台数の流れについては理解した。迂回する場合に、ロスが出て、迂回した場合に往復が出たときに台数のカウントが大きくなるだろうということで理解した。事務局の判断材料としては変わらない認識だが、改めて回答するようにする。
- 伊藤会長 渋滞の話と、収集車の総合距離は長くなるから、迂回させれば往復も増える。走行距離による排ガスの問題と違うと思うが、事務局は渋滞に対してはピークもずれているし問題ないっていう話をしている。井上さんは距離も増えるし、そこで出る排ガスが当然、増えるでしょって話をされている理解でよいか。
- 井上委員 排ガスを今は指摘していない。渋滞は前々から集中するだろうということは言ってきた。
- 事務局 井上さんは周りが増えることによる影響のことを言っているのか。
- 井上委員 収集車の往復が増えるといっている。
- 事務局 ルートが変わっても距離が延びるので、走っている距離は全体としては相当増えるってことはわかる。
- 井上委員 距離の方がより多いが、トラックの台数が数字に載ってないものがあると指摘した。
- 伊藤会長 わかりました。
- 事務局 もう一点、市長への中間報告のところに書いてある今後の全市的な合意形成について市へ打診という表現についてだが、合意形成という単語の捉え方かなと思う。地域の方々との意見交換はしたが、中学校単位のご説明の機会をやったように、今回の検討会の方向性を出すにあたって、全市的な市民の方に意見を聞く場を設けた方が良くはないかという提案だ。合意まで取り付ける等の意図はない。そういう機会を作りたいという申し入れをしてはどうかという趣旨だ。
- 最後に周辺地域の定義だが、これまで周辺地域としていたのは、北川原公園周辺の4自治会とクリーンセンター周辺の5自治会の計8自治会のエリアを対象としている。

- 井上委員 意見交換会の折に、周辺に住んでいる方たちだけを持って議論するのは違うだろうっていう意見があった。今おっしゃったように、8自治会の方を周辺地域とみなすのでよろしいか。
- 事務局 これまでの経緯も含めて、8自治会のエリアが周辺地域として対応してきた。この間指摘があった定義については、今後の全市民への周知の仕方の中で、明示して情報提供していきたいと思っている。
- 笠間委員 先ほどの井上さ委員の話は、南側集約ではなく北側集約でオーバブリッジの方の質問をされていたのか。
- 井上委員 車の車両台数について、数字に載ってないものがあるという指摘をした。
- 笠間委員 井上委員の話は北側についての質問だと理解した。私は南側に1本化した場合についてだが、7月13日の意見で20号バイパスの脇の道路が渋滞回避の抜け道になっていて危険だという意見があった。ポケット広場のすぐそばの道を渋滞回避で何台も行く状況を私も結構見たことがある。私の懸念は、南に集中した場合に、信号があっても止まったりすると渋滞回避で抜けていくことがより懸念されると思う。もう1点、事務局からの説明で南側は都から1年ごとに借りている状況だと聞いた。1年ごとに都に申請を出して許可をもらう感じなのか。詳細を教えてください。
- 事務局 現在は都市計画公園という位置づけで令和8年3月まで借りている状況。都市計画がある場所を公園利用する目的のため長期で借りられている。今後は、都流域下水道用地へ報告等をしている中で、仮に今後も借りるのであれば、都市計画のとして公園を外すのがまずは大前提と言われている。その後、都市計画公園を外した搬入路の部分は、ごみ処理という公共性が高いもののため、貸すことは検討できると回答をもらっている。借用が可能であれば、他の場所でも1年更新で貸しているため、1年ごとに手続きをして判断を行えば貸すことはできるかもしれないといわれている。今の状態だと貸し続けることはできないといわれている。
- 笠間委員 1年ごとに東京都が判断をし、下水道計画がもし進めば借りられなくなる可能性もあるという認識でよいか。
- 事務局 その通りだ。北側集約案は、日野市の用地での解消が可能という点が、特徴だ。
- 笠間委員 南側を検討するにあたって、都がどのような姿勢かは非常に大きなポイントになると思い質問した。
- 江藤委員 補足だが、南側は都の土地のため、都に返してと言われた際は北にオーバブリッジ等をせざるを得ないという大前提の条件付きでの提案だと思っている。仮に南側が日野市の土地でどちらに集約してもよい場合を考えると、南に集約した方が、北側の公園の面積も広がり、国道の下の日陰も使える。駐車場を南に移せば、現況の駐車場部分を公園として整備することが可能なため、公園

のポテンシャルはかなり上がる。駐車場を南側に移せば、運転する大人が必ずいる状態で横断になるため安全性も増す。誘導員の人も想定では2ヶ所に削減できるため、北側オーバブリッジ案と同じ人件費になるメリットはあると思い提案した。これを有力案として出す場合は、不確実性が必ずつきまとう。その場合は北側の公園を潰すことが発生する可能性がある。

伊藤会長
江藤委員

南側への駐車場の集約はどの辺を想定しているのか。

今原っぱとして使っている場所を想定。駐車場として大体の面積的には十分足りるかなと思う。現実的かわからないが、土日は搬入路部分も駐車場として使おうと思えば使えるため、車の台数が増える場合は増やすことも可能で割と合理的に使えると思った。

伊藤会長
江藤委員

そうすると、原っぱはもう使わないということか？

遊ぶ場所としてはもう使わない。その分今の駐車場のところを、公園として整備する。駐車場は市の土地だと思うので、工作物、遊具を設置することもできると思う。

別件だが、片側の集約で問題となっている日野市以外の車が日野市内に入ってくる影響がかなり大きいと思う。実現可能かはわからないが、バイパスの中央分離帯を利用してUターンできる様に切り込みを入れて他2市が日野市に入らずに帰っていけるようにするのはどうか。国交省と交渉する余地がもしあれば、片側に集約する場合の問題点の解消になるかと思う。

イメージ的に西寄りで日野市側寄りの所であればあり得るのかなと思った。全然別の場所で、交差点の付近に救急車が結構Uターンできる箇所を設けている所がある。一般の車も普通にUターンとして使えるようになっていて、それが可能であれば大きいかなと思う。

傍聴者

万願寺自治会の斉藤と申します。討論が南か北に集約するという話だが、現状維持の意見はどうなのか。万願寺自治会としては片側に集約すると、今万願寺駅のところでUターンという話が出ているが、住民としてはそのまま先行って裏道を入れてきて私達が住んでいる場所を通る懸念がある。できれば万願寺自治会としては、現状維持で都市計画変更を行ってほしいと思っている。南公園と北公園のバイパスの下の道路に誘導員がいる話だが、そこに例えば信号機や押しボタン式の仮の踏切の様なものを作れば減らすことは可能かどうかとも検討してもらいたい。

伊藤会長

ルートによって住宅地の方に車が来るかもしれないという話は、ごみ収集車が来るのではという話か。

傍聴者

私達の住んでいるところに入ってきてUターンするのではという懸念だ。

伊藤会長

それはコントロールできるか。

傍聴者

新石自治会の川久保です。何回も言っており最初から意見は変わっていない

が、今取り付けしてある搬入路を全部利用してもらいたい。1案を採用すると、万願寺交差点に小金井市、国分寺市の車が通らざるを得ない。より他市の車が日野市市内を通らないように、現在ルートを利用してほしい。

また、議事の3番に全市的な合意形成とあるが、何回合意形成すれば済むのかという問題がある。私達もこの間の意見交換会が最終だという話で出ている。また全市的な合意形成があると市長はどこで判断するのか。事務局からそこを明らかにして説明してほしい。いつまでも市長まで意見が届かないことを懸念している。

伊藤会長 手順について事務局から説明はあるか。

事務局 市長への報告だが、10月に発足して8カ月以上たつため、周辺の方々の意見を踏まえた上での方策等について、一旦は報告をする時期ではないかと考え、中間報告という形にしている。合意形成については、検討会の中で議論いただきたいことは初めからお願いをしている。去年の8月に、8中学校区で説明会をして、検討会を設けて解消策を検討していくことを伝えているため、よくあるパブリックコメントのような形で意見をいただくことは、市としても必要と認識している。これらを踏まえて、今日の検討会の中で全市域への周知等の方法について意見をいただければと思っている。

伊藤会長 意見交換会の前までは、有力な2案という感じだったが、三つに増えてしまっている。この会で一つが非常に有力という状況ができれば今のプロセスがシンプルになるかもしれないが、聞いていると一つにはならなさそうな感じがある。三つの案で議論していただきたいがいかがか。

中谷副会長 北川原公園の問題の原点は、周辺住民の大きな反対運動がある中で市と協議し、1979年の終末処理場を受け入れることになった際に、日野市としても、これまでの計画に1.4ヘクタールを買い増しして、地域の皆さんに総合公園として提供するという所だ。79年の広報ひのには、当時の市長がこの感謝の気持ちは日野市民全体の感謝の気持ちを込めて都市計画をするということを言っている。

40数年経って、日野市民は下水道を利用できる恩恵を受けてきている。私は、ここの地域で迷惑施設を一手に引き受けてきた地域で作られる公園について、途中の経過でごみ搬入路をお願いすることになったが、違法と最高裁で判決を受けた中で、地元の問題だけでなく日野市民も終末処理場を受け入れてきていただいたことも含めて約束を守っていく義務がある。今の焼却処理場も、30年間で地域から撤退する約束があることさえ知らない市民が多い中で、去年の8月8ヶ所の説明会がやられた。この問題はそういうことも含めて、変わっている問題だと認識をして、改めて検討会を開いて、どのように集約するか、市民の皆さんに、検討していただくことは非常に大事なことだと思う。

関連するが、財政非常事態宣言が出て、できるだけお金を少なくという意見も出ているが、日野市民全体として約束をした以上、一定程度負担していくことも必要かなと考えている。

伊藤会長 江藤委員に質問だが、南側集約する案の場合、北側にある道路はそのまま残しておく理解でよいか。

江藤委員 北側の道路はもう公園として整備をすればよいと思う。撤去もあるが、アスファルトを敷いている場所にバスケットボール場を移動して使う等、そのままの使い方も可能だと思う。撤去して、通常の公園として利用する想定もしている。

伊藤会長 南側は永続的な借用が不安定なので、場合によっては北側道路も置いといて、何かのときは使うことも想定をしているかと思った。

江藤委員 どういう出し方をするかだが、南側が駄目と言われる可能性がある中ではそのまま残しておくのが可能であれば、担保の取り方としてはありだと思う。思いついたメリットは、完全に北側の道路も公園として整備できればかなりポテンシャルは上がるかなと思った。どこまで踏み切るかだ。

伊藤会長 迂回した際に、渋滞などを地元の方が心配されている。南側へ集約とすると、大きな変更ってあんまりなさそうなので、試しにやってみるのもあり得る。どのぐらい本当に渋滞が起きるのか見てみるのはどうか。

江藤委員 北側集約、南側集約も当初から交通問題はあったと思う。やってみるのはありだと思っている。他の 2 市の収集業者の協力さえ得られればすぐやれると思う。

笠間委員 先ほどポケット広場の横を、渋滞回避で一般車が入ることが多い話を私は何度か伺っている。周辺の方は、子どもが 1 人で周辺を歩いていても危険と言っていた。私は南側集約の場合はどうするか判断をする上では、一つの大きなポイントだと思う。

傍聴者 新石自治会の川久保です。先日、東京都下水道局と周辺 5 自治会で話し合いがあった。その際に質問した回答をするために私どもの自治会に下水道局が来た。その際に、下水道局の東側に焼却場を作ることについての質問と合わせて、下水道局の西側用地にパークゴルフ場を作ってほしいと伝えた。パークゴルフ場はかねてから要望しているがどうなっているかと聞いたら、まだ結論は出ていないといわれた。ソーラーパネルを作るかパークゴルフを作るか、いずれにしろ、私達の自治会の方を通して話し合いは乗ってくれることは確約した。詳細はまだ宙ぶらりんだが、皆さんが思うような形では結論が出ないと思う。

浅海委員 住宅地への通り抜けの心配だが、場所を確認したい。それは、伊藤会長も言っていたがコントロールする方法として、例えば進入禁止、居住者のみ可など方

法はあるが、方策として考えられるものを教えてほしい。

- 事務局 以前から危険性があるって抜け道になっていることはお聞きしている。現時点で何か動きをしていることはない。簡単にやる方法は、居住者以外入らないでくださいという看板で周知啓発をする。後はお住まいの方も不便をかけるが安全性を向上させるということで、車両進入禁止にする方法もある。居住者以外という規制の方法もあるが、居住者の判断や取り締まりの難しさから、そういう規制は難しいと思う。いずれにしても、日野市だけでなく、交通管理者の日野警察と協議し、お住まいの方の理解が得られるか大事になってくる。これは搬入路の問題ではなく、20号バイパス全体の話のため、別個で考えるべきだと考えている。
- 傍聴者 今の規制の話だが、以前も自治会内でいろいろと話は出ている。今一番厳しい規制をしているのは日野自動車の裏側の道だ。あそこまでやると、親戚の車や、タクシーも入れない。自治会内で話し合うことを、他の地域の人たちがこの場で話し合うことが一番困る。
- 金子委員 いろいろ案があって、それぞれの案に全て問題点がある。その中で私が一番心配しているのは、ルート変更だ。ルート変更は問題が大きくなる。高幡や日野橋周辺にいる人たちは知らない。その眠っている人たちが起き出したときに、日野市としても大変な仕事になることを心配している。その辺も十分検討した方がよいと思う。
- 笠間委員 現状残置案の場合は、都市計画変更を北側も南側もやって、そのまま残る。20年後位にごみ焼却場を他の場所にする話になったときにまた改めて都市計画変更をする必要がある。公園に戻すっていう意味で。
- 事務局 当面の違法性の解消は、都市計画変更して公園から外し、搬入路を残すことを想定している。可燃ごみ処理施設が移転するときに、搬入路をどうするかは、その際に検討していただければと思っている。可燃ごみ処理施設だけでなく、資源ごみ、プラごみ等があるため、多摩川ルートへ移すことは、地元の方とも約束している。
- 浅海委員 プラス1案が出てきて問題の構造を整理した方がよいかなと思っている。そもそも北川原公園の搬入路が現状のままある状態を、問題あり又は問題なしと見るかというところが出発点としてある。意見交換会では、子供が危険と隣り合わせで改善した方がよいという意見もあれば、自治会さんが言うように現状がベストであるという捉え方もある。もう一つは、北川原公園が南側と一体的になって、豊かな公園をやるのが本来の都市計画的な公園を位置づけたときの目標で、それを阻害することをどこまで認めるのかという中で複数案出されている。一体的な公園を担保しようとする案と、分断してもよく、南側はあんまり価値がないという意見もあった。このような意見がいろ

いろ出ているのが現状であり、そこまでの整理を申し上げた。

傍聴者

新石自治会の田添と申します。40年前から都市計画で公園として整備された場所が、搬入路により削られたというのが問題になってきている。今までの話だと、南北どちらも公園を削られるのは困るとの話でできている。確かに子供たちがのびのびと遊べる公園にするって言うのは理想で誰も駄目だという人はいないと思う。現状これだけの問題や意見がある中で、あの面積でいうほどのものかという点に問題を持っている。現状見てみると、ほとんど遊んでいない。そこで費用や労力、期間をかけてきているのに、何ら進歩がない。前から気になっていたが、原告団のおっしゃった住みよい素晴らしい公園にすることは私も反対はないが、あの広場がそこまでの問題なのかと思っている。

伊藤会長

浅海委員が言うように、どういう立場から見ると、評価が非常にわかれてしまっている。これだけの人手と時間もかけて、良いものにたどり着かなければ、意味がないという思いも持っている委員の方が多いと思う。もうちょっと時間をかけて、良くなってほしいという思いがなければ、色々な意見は出ないと思う。最初は非現実的な案からいろいろあったが、現実的な三つの案に集約はしてきていると思う。それを多数決で決めるなどは難しいと思っている。ご批判もあったが、地元の方の問題ではあるが日野市全体の方にも投げかけて、三つの選択肢がどういう優先順位になるのか、広い立場で、長い時間で何を取るべきかという議論をやる必要があると思った。合意形成と書いてあるが、そこに決定権もなく、最後は市長が決めることになるだろうが、もう少し議論をして、一つにまとまらないかもしれないが、意見がどのように日野市民の中に存在するのかが明らかにするプロセスがないと市長が決められないと思う。いつまで議論するんだと批判があるのはわかるが、論点はまとまってきている。どれを選ぶのかいろんな立場の人が考えてもう一度確かめさせていただきたいと会長としては思う。

江藤委員

北南集約の案は、日野市の中に他2市の車が入ってくる点が問題なので、Uターンの切込みができれば一番良いが、駄目だった場合にバイパス上でUターン箇所を分散することなどで国道に収まる方法がもしあれば数字など検証してほしい。

会長言ったとおり、どの案も賛成・反対する方がいる状態なので、最終的にそうであればひとまず現状維持もありなかなと思う。バイパスが開通して交通量が変わってくると周辺の方も懸念されている。課題としては、終わりにせず、現状維持のまま課題を抱えつつ、都市計画は変更して違法性は解消する前提で、周りの環境が変わっていく中でベストな案を長期的に検討していくという検討会の答えもありかなと個人的には思う。

傍聴者

下田自治会の中嶋です。ごみの車が住宅の方に入ってくる等色々な意見があ

るが、市はどう管理をしているのか。例えば、他の市の業者に対して、この道を必ず通ってくれ等詳細な指示を出しているのか。守らないで、他のところに入ってしまいう車がいて地域の住民が困るのであれば、防犯カメラをつけて、緑の清流課で確認をすることをするかどうか考えたらどうか。

事務局 ルート変更について、2市の方にこのルートで変更してほしいということであれば、収集業者は委託先のため、必須条件として周知徹底も可能だと思う。今のルート変更については、大きな通りを通過して生活道路に入らないことが大前提だ。今提示している4ルートは分散できるのかなということ以案として挙げている。

傍聴者 新石自治会の土方です。今委託業者という言葉で連呼して、信用できるといわれたが、日野市が委託している業者は瓶が入っているカゴを投げ捨てたり、うちのアパートのゴミ箱のカゴの蓋を開けっ放しにしていたりしている。委託業者だから信用できるとい言葉は、信用できない。

傍聴者 傍聴の花田です。まず、検討委員会の真剣な討議に感謝したい。私はごみ問題に関して、川久保氏と共に取り組んできたが、北川原公園が整備される以前は通行するにもひどい状態で、特に夜間は通行するのが危険だった。公園の北側は、40年前に当時の市長が東の玄関として整備を目指したものの、今の状態は公園とは言えない。特に問題なのは、公園内にごみ搬入車が通ることだ。南側はほとんど利用されておらず、多くの市民がその存在を知らないのが現状だ。私は、公園が子供たちにとって安心して遊べる場所になることを願っているが、ごみ搬入路の撤去は容易ではない。公園が本来の機能を果たすためには、搬入路の問題を解決しなければならない。私は、現在のごみ搬入路をすぐに撤去することは難しいと感じているが、2050年には移転してほしいという強い願いもある。ごみ搬入路の問題解決は、私たちの世代が責任を持って取り組むべき課題だ。私たちは、この負の遺産を未来のひとに渡さないために、今こそ具体的な解決策を見出さなければならない。3市の話し合いでは、令和16年に次の焼却場をどこにするか覚書を締結する予定になっているし、新石自治会の方々は2050年には、ここからきっぱりと焼却場を移転してほしいという強い願いがある。30年後には焼却炉が移転するよう、しっかりと話し合いを進めていく必要がある。これらの問題について、皆で真剣に話し合い、解決策を見つけていければと願っている。

窪田委員 公園を作る趣旨について、迷惑施設を受け入れてもらうためには大きな公園を整備し、良い街を実現することを40年前の市長が市民にお願いしたことであり、市民はその方針を受け入れてスタートしたものだ。やはりその原点に戻るべきだと思う。子供たちが安心して遊べるためには南北がきちんとつながることが絶対条件であり、それを保障すべきだと思う。さらに、南側案の都有

地を使用できる場合は良いことだと思うが、その場合も現状の道路を利用するのではなく、橋をかけてオーバースパスを整備することが必要だ。南北の通行が自由に安全に行えるようになれば、北側に固執する必要はない。最も重要なのは南北が自由に利用できる公園を作ることだ。

村木委員 公園を生かすというところで言うと、1案か3案だと思う。伊藤会長の意見で面白いと思ったのは、3案だったらまずはトライしてみるの？とあった。そこを経て、1案3案の効果を検証するプロセスがあっても良いと思うようになってきている。2案は今のままというわけには行かないというのが私の意見だ。3案をトライアルしてみることであればやってみても面白いかなと思う。

浅海委員 意見交換会で気になったことが一点あって、南側が使われてないから価値がないという意見があった。それは現状の整備の仕方がそのような状況を招いているのであり、南側の敷地が公園としてそれなりの形になれば、魅力あるものになり得ると僕は思っている。ポテンシャルが南側の敷地にもあると思う。したがって、南側は公園として何も価値がないとし無視して北側だけ公園にすれば良いというのは、違うと思っている。

井上委員 違法解消策の3案それぞれの賛否両論を入れた報告を、市長に行うことをもって検討委員としては任務を果たしたと私は思う。

3-(2) 周辺環境改善について

事務局 第8回検討会資料に沿って説明

(主な意見等)

村木委員 14 ページに反対意見としての記載があるが、その中身は反対意見ではない。検討会のテーマとした周辺環境の問題を、検討会で話すべきじゃないという意見を載せなくてもよいと思う。

井上委員 賛成意見の中に、「公園に地下貯水槽の設置が必要だ。せっきくの公有地活用として、防災対策を取り入れることを望む。」とあるが、周辺環境改善の反対意見になると私は思う。

私は焼却炉の先にある石田防災センターを国が作るということで、このエリアは防災を重視をしていると思っている。市民の意見が出ているのに、防災の観点はどこにも書かれてない。15 ページ目に、クリーンセンター周辺の環境改善に関するアイデア一番下の枠組みの中に防災機能の拡充があるが、今一番大事なことだ。市民の憩いの場も大切だが、防災なくして充実はない。わずかな公園面積だとしても、やはり防災機能が第1優先にされるべきではないかと思う。その観点から、今後もいろんなアイデアを検討していただきたい。

傍聴者 下田自治会の中嶋です。北川原公園を作ろうというのは、ごみ収集車を通す道

を作るから、公園も作る話だった。公園を作るにあたって、どういう公園を作るか地域の話し合いがあり、現在北川原公園は、防災公園となっている。だから、防災機能を拡充することは、もっと良いことだ。そういう経緯で作られた公園であるため、ベンチがかまどになったりする設備が全部設置されている。そこら辺を理解した上で、もう一度ご意見言っていただきたい。

浅海委員 確認だが、15 ページの原風景を感じられる公園構想の表記は、全体に関わる考え方として示されているが、北川原公園をそういう公園にしたらいという意見があったと思う。そういった認識で間違いないか。

事務局 北川原公園のことについて原風景をという意見があったのは確かだ。その後の意見カードの中でも、北川原公園ではなく、合流地点のところも原風景をという意見があった。そのため、全体としてのこのような内容でエリアを考えていくべきだということを書いてある。

浅海委員 地域全体と、北川原公園の今後の整備の両方にこういう考え方を取り入れたらよいという意見があったということによろしいか。

事務局 まとめて全体にかけた方が良いと判断した。周辺の中には北川原公園も入っているため、全体として書いている。

伊藤会長 周辺環境改善と方策の選定とは質が違っている。方策の選定は委員会で方向性を見出す前提で議論をしているが、周辺環境改善については今後できる委員会で具体的な議論をする必要があるが、繋がった問題として提言の中には盛り込みたいという趣旨で書いている。今後の会議体に引き渡していきたいという趣旨のため、細かいところの議論をしたいということではない。

金子委員 旧クリーンセンターの建物を撤去した方が良いと提案したが消えているがどうなったのか。今後検討する新しい会議体は、特に周辺住民を中心にした会議体を作って検討した方が良いと提案させていただく。

事務局 記載していないが、プラスチックゴミも含めたごみ搬入路の多摩川ルートの本一化と検量棟の移設移転のところに包含されている。

事務局 全市民に対してのご意見のいただき方を詰めたいといった中で伊藤先生からご提案いただいている。このスライドの部分の説明をお願いしたい。

伊藤会長 第8回検討会資料に沿って説明

3-(3) 全市的な合意形成について

事務局 第8回検討会資料に沿って説明

(主な意見)

浅海委員 テーマが全市的なことなので、提案のようにやることは良いと思う。スケジュールはどんなイメージを想定しているか。

事務局 無作為抽出は、文案を決めて発送し、一定程度の募集期間が必要。(今回)市長の中間報告があるとなれば、10月か11月ぐらいに会議ができればと思う。合わせて伊藤会長からは、市民の合意形成をやっていくということは、全市民が知っていた方が良いとの指摘があり、お知らせを全地域に配布することも想定している。準備等もあるため、そんなに早くはできない。それを受けて第9回検討会になると思う。11月中か12月の頭ぐらいに第9回ができれば順調に進んでいるという認識だ。

・・・ 《流域下水道の用地について質問あり》

事務局 南側の流域下水道の用地については、今、都市計画公園として位置づけられているところを公園として借りて、今搬入路として使っている。その期限は令和8年の3月だ。東京都からは、都市計画公園のまま今の状態で貸すことはできないと言われている。したがって、都市計画の変更をしないと、今のこの状態で継続して使うことはできなくなるため、ある程度のところで区切って、都市計画変更の手続きを行う必要がある。今の搬入路を一定期間使う必要があるという認識でいる。

都市計画変更の手続きには最低でも6ヶ月必要だ。それを受け、正式に借用する手続きに入れるため、なるべく早い段階で結論が出てほしいと思っている。年内に市長に報告していただいた場合、順調にいけば6月ぐらいに都市計画変更の手続きが完了し、流域下水道局と借地の延長の協議に入っていると想定している。

笠間委員 伊藤会長に質問だが、この会議のテーマは周辺環境整備の問題、ごみ搬入路の問題、それからごみ焼却場の問題、大体その三つぐらいと想定するが、それらの問題を提案するのは誰なのか。

伊藤会長 この間の意見交換会と違って主催は市だ。誰に説明者になってもらうか検討が必要で、検討会や地元の方に説明してもらうことはあり得る。どういう人に意見を言ってもらうかは検討すべき事項。市だけで説明するとあんまり深まらない。

広く市民の方々に対して、「ゴミ問題であれば自分事だからみんなで考えよう」という呼びかけは大事だ。こういう方法もすごく良いと思うが、ごみ搬入路の問題になるとマイナスから出発して検討会やってきたみたいな感じがある。説明等が難しく理解もなかなか1回だけで進むか懸念があるがどうか。

ドイツで本格的に採用している方法であり、4日間ぐらい実施する。日本の場合はそこまで時間を割ける人がいないので、1日とか2日の短縮版が多い。普通のワークショップと違って、午前10時から夕方4時までなど、相当長い時間をとってやることはありうる。その場合、1人数千円のクオカードで謝礼を用意する場合も多くある。

- 金子委員 昨年10月から会議に参加していて少し長すぎだと感じる。住民の中には、何をやっているんだという強い意見も出てくる可能性もあり危惧している。もう一つは、この会は、いろんな意見を検討して、市長に答申することが会議の趣旨ではないのか。委員が住民の方の説得や説明をするのは任務ではないと個人的に思っている。
- 井上委員 環境改善に資する構想について、次の会議体でやっていただきたいと思う。市長報告に表現を入れることを想定している形になっているが、違法解消と環境改善について両面を考慮するのは、検討委員の範疇なのかと私は思っている。皆さんの了解を得るために、違法解消だけではことが進まないところから議論されてきているかとも思う。
- 村木委員 全市的な合意形成について、どういう最終的なアウトプットが出たら合意が取れたというふうにみなすのか。会長はどのようにお考えか。
- 伊藤会長 合意には至らないのではないかと思う。3案を議論する流れになると思っている。1案がベストであり今日絞れば、より細かい意見とか案について集中して議論できると思うが、そうではいなければいろいろ議論をしていただいて、最終的に各案支持する人がどの程度いるか、分布が見えるようにして引き取るしかないかなと思っている。
- 村木委員 その結果を報告書に付記することになるか。
- 伊藤会長 結果を検討会が見て検討会で意見を出す。結果としてデータは付いていても、それをどう読むかは検討会で議論することで、そこに評価を付けて出さないと駄目だと思う。
- 村木委員 第9回の検討会は、きちんとしたデータをもとに、検討会としての報告案をまとめなくてはいけない。自由に討議しているとまとまらないと思うのでリーダーシップをぜひお願いしたい。
- 浅海委員 各委員が現状でどう考えているかということは今日は聞いたりしないのか。
- 伊藤会長 聞いても良いが、聞いた方が良いか。
- 笠間委員 江藤さんが、まず南側集約案をやってみて、東京都が下水道用地として使うよって言ったら北側もと話された。それに対して会長もそれもありかなっておっしゃった。それはできるのか。
- 伊藤会長 どちらかに固めると、ごみ収集車の影響が広域に及ぶ心配がある。だから3案であれば、何も工事する必要ないので、実際ごみ収集車がどのぐらい問題を周りに起こすのかをしばらく観察できるのではないかと。それほどでもないのか、問題になるのか、やってみることができるのではないかと、というつもりだった。
- 笠間委員 いつからいつまでやってみるのか。
- 伊藤会長 社会実験は最近よくあるが、どのぐらいの期間、データとして蓄積すれば判明

するのは分からない。今は、本当に問題だろうって話に対して数字上問題ありませんという話になっている。あんまり確定したこと言えないので、実際やってみて、確かめるっていうのもあるのではないかといった。

笠間委員
事務局
伊藤会長

それができれば良いが、市として可能だろうとお考えか。
市としては検討会から出された提案であれば実施可能と思う。
その場合 3 案は南側の公園を捨てている。そもそも南北を絶対守るべきだっ
ていう立場での意見であるので、やったから 3 案が良いということではない。
3 案みたいな考え方で 1 年ぐらい、どういう問題が起きるのかルートを変えて
みることはありそうだと思う。

浅海委員

3 案に対し社会実験を実施するのは違うのかなと思う。社会実験は社会実験と
して交通量の問題が実際にどの程度あるのかを実験するのはあると思う。

江藤委員

窪田委員から南側の搬入路でもオーバースペースにすべきだって話があった。僕
の案は、南側は東京都から借りていて、簡単に撤去できない工作物は作っては
いけない点はマストだと思っている。南側は現状のままっていうのが、一応僕
の原案だ。

浅海委員
事務局

社会実験は市民会議までにできないのか。
できる範囲でとなる。検討会の要望であれば、検討会としてそれが必要だとい
うことであれば、持ち帰って検討する。
資料の説明だが、江藤さんの案について、2 案への反映としているのは、南北
の横断ができない案だからだ。目的が違うので、1 案への反映ではなく 2 案へ
の反映にした。ルートの変更は必要だが、南北の一体利用を実現すべきだとい
うことで 1 案になった。3 案として出しているわけではなく、改良したらこん
な形だということに記載している。

伊藤会長

地元の方にとっては、2 案と 3 案が同じかという結局ルートが変わるから
3 案は駄目だ。

事務局

繰り返しになるが、南側への集約については、ごみ搬入路が借地で 1 年更新
であることに対して担保性のリスクがあると市は認識している。東京都とは
いえ、他の機関の計画の影響があって、搬入路を再度検討する状態にならない
ようにしたい。やるとすればリスクにいつでも対応できるように、形態として
は北側搬入路をアスファルトの状態に残して公園利用するというのが考えら
れると思う。

伊藤会長

一旦閉じて、市長報告にこの三つの案をどういう形の並びで出すかを相談し
たいが、重要なことだから、引き延ばして検討会として議論したいということ
であればそうするが。

金子委員

会議を延長してやる方が私としては良いかなと思う。

《 休 憩 》

- 伊藤会長 8 月半ばぐらいに市長への中間報告をしようかということは今事務局とは調整している。1 案 2 案 3 案、全部並列の形で報告するのか、評価的なことを加えて報告するのか、率直な意見を 1 人ずつ聞いていきたい。
- 江藤委員 この南側集約を 3 案としてこのまま進めて大丈夫なのか。
- 事務局 委員の中で決めていただきたい。
- 江藤委員 市長への答申の仕方は、話を聞いた感じだと、一長一短あると思うので並べ立てて良いと思う。わかりやすくするとすればレーダーチャートみたいに環境とか交通とか危険のリスク等で採点付けとかができれば、伝わりやすいと思う。個人の意見は、2 案か 3 案が良いと思う。1 案は単純にコストが膨大で大規模な構築物を作るのは感覚的に抵抗がある。
- 村木委員 まず列举の仕方は、何らかの重み付けをして検討会としての意思をちゃんと入れるのが重要だと思う。それができなければ委員の中で各案を推す者が何名という形での報告になるのかと思う。自分の意見は、一番良いのは 1 案だと思う。1 案がどうしてもできない場合は、2 ないし 3 ということにはなろうかと思う。
- 金子委員 私は、3 案すべて提案しても良いと思う。3 案の中であえていうことであれば、私は 2 案だ。大きな問題点だけをあげて、報告したら良いと思う。
- 井上委員 1、2、3 案をそれぞれ良いところと良くないところをつけて、市長さんに報告して、市長に判断していただきたい。日野市の責任で決定して、次の会議体に提示して、周辺住民の方を中心にした会議体にしてほしいと思っている。無差別抽出で市民会議をやるとのことだが、周辺住民の方が一番大事だと思っている。市長がどのような選択肢を取るかわからないが、三つ並列して、細かいことも書いてほしいと思っている。推しの案はない。
- 笠間委員 江藤委員の話が自分でもわかりきれてない部分がある。南側の部分は全く切り離すということなのか。
- 江藤委員 国道の下を、全天候型の遊べる場所にして、バイパスと搬入路の間の（南側の）歩道にそのまま出ることができる。完全に切り離してはいないが、駐車場を南側に持ってくれば遊ぶところとしては切り離されるということもイメージしている。
- 笠間委員 私は 1 案と、3 案を市長に中間報告するほうが良いと思う。私は、現状のままのごみ搬入路という状況はちょっと考えられないという立場だ。1 案を支持する。問題点や課題、方向性は、整理をして出した方が良いとは思っている。
- 窪田委員 私は 1 案で行くべきだと思う。2 案、3 案を提案している方々は基本的な間違いをしている。現在搬入路が作られている土地は、都市計画公園だ。都市計画公園だから、搬入路を作ったことは違法だというのが、地裁から最高裁までの司法判断の結論だ。適法化するのであれば、公園を道路にしてしまったことの

マイナスコストを入れないとおかしい。僕は更地価格の半分は評価すべきだと思う。少なくとも1平方メートル当たり10万円とすれば、4億円くらいになる。コストにきちっと算入しないやり方は間違いだと思う。あそこの用地を日野市が買い入れたのは、迷惑施設を受け入れてもらうための措置だ。良い街を作るために公園用地として買った。その公園用地を道路にするのであれば、公園から道路に土地を買い換えることであり、私は最低限50%土地利用権と考えた場合に、少なくともコスト論では、土地価格の50%は算入しないと、誤った判断を導くことになると思う。

浅海委員

私は、1案を推したいと思う。答申を求められているこの検討会としては、市長に何らかの方向性を示すべきで、複数案の並列は違うと思う。最初に現地を訪れたときに、ごみの収集車が、子供たちが遊ぶ目の前を歩いて、整理する警備員の人立っていて、向こうにまた公園が続く状態に疑問を感じた。地域の人にとって20年30年と続くことが良いとは考えていない。南北合わせた公園は、全市的に考えると総合公園的な非常に重要な拠点となる位置づけの場所でもあると思っている。

中谷委員

私は1案を支持したい。市長への答申はこれまで出された議論を評価して、順位をつけて提出したいと思っている。この問題に関わって、世田谷の下北沢の住民間の対立が都市計画道路、駅前の再開発を巡って、議論がなされたところで、本当に徹底的に議論をして、その街をどうするか、議論し尽くして解決にあたっている先例を勉強した。その中で非常に印象的だったのが、小田急の掘割に蓋をして、その上を緑道として使われており、地域住民にとって非常に居心地の良い、愛される場所になっている場面を見たことだ。

北川原公園はすごく不幸だと思う。確かに9.6ヘクタール、都市計画公園決定しているが、南側は下水処理場の上に蓋をして作る制約がかかっている。

本当に誇りある公園にしていく展望を、この問題を契機にして作りたいなど思っている。本当に一体のものとして有効に使える公園だということを、市民の皆さんにもわかるように説明したい。南北一体化、これも本当に妥協だが、北川原公園のごみ処理場はもう受け入れている状況で搬入路はなくすわけにはいかない。市民としての責任としても、搬入路も作って、感謝を込めて作ったこの都市計画を完成させていく方法にしたいと思っている。第1案でやりたいことも含めて、市長に報告したいと思っている。

伊藤会長

検討委員会の正式な時間は終わりにして、その後ちょっと取りまとめを僕の方でさせていただく。